

秋田内陸線新聞

第27号

発行所 秋田内陸縦貫鉄道
〒018-4613
北秋田市阿仁銀山下新町 41番地1
☎0186-82-3231

内陸線資料館がさらに充実!!

—ジオラマに懐かしの古民具—

昨年7月阿仁合駅前にオープンした「内陸線資料館」が、楽しく珍しい展示品を揃え、さらに充実しています。今回はその新しい展示品をご紹介します。

リアル感満載のジオラマの寄贈

「内陸線資料館」のある阿仁合駅前。その阿仁合駅を忠実に再現したジオラマがお目見えし、訪れた人の目を楽しませています。

『阿仁合駅の一日』と題したジオラマは、駅舎・ホーム・車輛基地などが精巧に作られており、まさに日常よくある風景を模しています。じつと覗き込んでみると、今にも列車が動き出しそうな、人の会話が聞こえてきそうな趣があります。

このジオラマは、岩倉高校（東京）の生徒さんの自主制作によるものです。岩倉高校は、一昨年8月に行われた鉄道交流会のつながりで内陸線の応援を上げており、今回このジオラマを制作・寄贈いただいたものです。岩倉高校のみなさん、ありがとうございました。



岩倉高校寄贈 ジオラマ



阿仁の古民具で昔を懐かしむ

「内陸線資料館」の新たな展示品のもつひとつは、「これ、どうやって使ったんだろっ?」古民具です。

「内陸線資料館」のテーマの一つに歴史とのつながりがあります。内陸線や鉄道とは直接関係はなくても、阿仁の古民具により昔の生活を振り返り、思いを馳せ楽しんでいただきたい。そんな思いから展示を始め、特に年配の方々から喜んでいただいています。

今の時代から見れば「よくまあ、こんなものが」と見えますが、当時はこの品々が必需品であり、生活の一部だったわけですね。皆さんのお宅にも「これは!」という一品はございませんか。

乗車の合間に、散歩の途中に立ち寄りていただいている「内陸線資料館」。雪で大変な季節ですが、毎日営業しております。どうぞご来館ください。



阿仁の古民具の展示

内陸線情報コーナー

冬だからこそないりくせん!!

2.1~11 ゆきだるまフェスティバル

期間中沿線の各地で雪だるま関連イベントを開催します。主なイベントとして、内陸線を雪だるまデコレーションした「ゆきだるま列車の運行」、無人駅での「ゆきだるま作成展示」、八津かたくり館での「オープニングイベント」、上桧木内の紙風船上げで「空飛ぶゆきだるま紙風船上げ」などを行います。問合せ 秋田内陸活性化本部 ☎0186-82-2114

2.1~3.17 2014 マイレールキャンペーン

冬季の秋田内陸線に少しでも多くの方に乗車してもらい、その魅力を感じて貰うきっかけ作りとして、乗車促進キャンペーンを実施します。内陸線の乗車やこくま亭、車内販売などでもらえる応募券を集めて、景品を先着1,000名様にプレゼント。さらに抽選で温泉ペア宿泊券が当たります。



2.22 スノーキャンドルストリート in あに (阿仁合駅)

火を灯したミニかまくらで、阿仁合駅周辺を幻想的に彩るイベントです。昨年に引き続き、冬花火の打ち上げを予定し、今年は異人館をイルミネーションで飾ります。当日は角館方面20時10発の列車を臨時増発します。問合せ スノーキャンドル実行委員会 ☎0186-82-2313 (古川林業)

2.22~3.2 おひな様列車運行

2月4日に作成したつるし雛等で列車を飾り付けしたおひな様列車を運行します。

2.22~3.2 北秋田おひなまつり

おひな様列車の運行に併せ、阿仁伝承館を会場に阿仁に古くから受け継がれているおひな様を特別展示します。問合せ 秋田内陸活性化本部 ☎0186-82-2114

2.22・3.15 「ごっつお玉手箱列車」運行 (角館駅)

停車するたびに、地元農家のお母さんたちの手作り料理が列車内に持ち込まれる内陸線名物の企画列車です。問合せ 内陸線旅行センター ☎0186-60-1111

1.31~3.29 東北ローカル線バス発売

東北のローカル線を中心にJR東日本線などで利用できる、3日間有効なフリーバスが販売されています。利用期間 (2.1~3.31) 問合せ 内陸線旅行センター ☎0186-60-1111

12.7~26.3.30

森吉山阿仁スキー場オープン (阿仁合駅)

樹氷も見られる森吉山阿仁スキー場の冬季の Gondola 運行をしています。樹氷総合案内所は25.1.11~26.3.9まで開設中。問合せ 阿仁スキー場 ☎0186-82-3311



リニューアル!! 近日発売

「プレミアム馬肉シチュー」

昨年ご好評いただいた「馬肉シチュー」が一層美味しくなり「プレミアム馬肉シチュー」として近日リニューアル販売。一食の価値あり!